

# 2019年度 古文書講座のご案内

古文書の読解は、ナマの歴史に触れる第一歩です。郷土に伝わる古文書の読み方を学び、講座の仲間と共に、信濃の歴史について、学習を深めてみませんか？

## I 講座内容

講座	内 容
初級	古文書はまったく初めてという方を対象に、まず、第1・2回で、くずし字辞典の使い方、人名、かななど古文書の基礎的な読み方、文書の書き方などを学習します。第3～5回では近世の武家文書や、庶民の日常生活に関わる文書の中から比較的読みやすい文書を読んでいきます。 <b>過去5回以上程度受講された方は中級に挑戦しましょう。</b>
中級	ある程度古文書に親しみ、もう少し本格的に読んでみたいという方を対象に、生活や文化に関連する様々な文書を実際に読みながら、古文書読解の様々なポイントを実践的に学びます。前半は近世文書を、後半にやや難解な中世文書につなげていきます。
上級	古文書中級講座を数年受講した方を対象とします。さらに上達を目指し日記や書状など本格的な文書を読み解きます。より難解な文書に挑戦したい方はぜひご参加下さい。

## II 講座日程・募集人員・講師 ※注意 今年度から午前中のスタートを 10:00 にしました (除ティーンズ)

講座名	日 時	人 数	講 師
初級A (休日)	① 6月2日(日)② 7月7日(日)③ 8月4日(日) ④ 9月15日(日)⑤ 10月6日(日) 計5回 午前 10:00～12:00	40名程度 (最大50名)	小野和英 伊藤友久
初級B (平日)	① 6月13日(木)② 7月11日(木)③ 8月8日(木) ④ 9月12日(木)⑤ 10月10日(木) 計5回 午前 10:00～12:00	40名程度 (最大50名)	小野和英 伊藤友久
中級A (休日)	① 6月1日(土)② 7月6日(土)③ 8月3日(土) ④ 9月14日(土)⑤ 10月5日(土) 計5回 午前 10:00～12:00	40名程度 (最大50名)	村石正行 畔上不二男
中級B (平日)	① 6月13日(木)② 7月11日(木)③ 8月8日(木) ④ 9月12日(木)⑤ 10月10日(木) 計5回 午後 13:30～15:30	40名程度 (最大50名)	村石正行 畔上不二男
上級	① 5月18日(土)② 6月15日(土)③ 7月20日(土) ④ 8月17日(土)⑤ 9月21日(土) 計5回 午前 10:00～12:00	40名程度	尾崎行也
春休み ティーンズ 講座	①3月25日(水) ②3月26日(木) ③3月27日(金) ④3月28日(土) 午前 9:30～12:00	20名程度	村石正行

※初級、中級ともA・Bの講座は同一内容。同じクラスのA・B重複受講は不可。

※初級は初心者対象とした内容です。中級は初級講座を5年程度以上履修した方もしくは古文書学習経験者の履修が望ましい。ティーンズは中・高・大学生を対象とする。

IV 申込み受付 2019年4月17日(水)～(定員になり次第締め切り)

V 申込み方法 別紙の申込書に、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、受講希望講座名をご記入の上、郵送・FAXでお送りいただくか、ご持参ください。

※受講料は各講座の第1回講座の際に納入いただきますので、申込書に同封しないでください。

**1講座1,000円**

VI 申込み・問合せ 県立歴史館文献史料課 〒387-0007 千曲市屋代260-6 Tel.026-274-3993(直通)

FAX 026-274-3996 (例年間違い電話が多いですので確実にダイアルしましょう)

## 2019年度古文書講座シラバス（予定）

<b>初級</b>	目標「簡単な1枚文書の文字を8割以上読めるようになる」
1回（小野講師）古文書の世界へ踏み出そう くずし字のいろはをお教えします。 推薦辞書：くずし字辞典をお持ちでないようであれば下記の辞典をお求め下さい。 『くずし字用例辞典』（普及版、東京堂出版 6,264円）	
2回（小野講師）「立屋口留番所史料を読む3」 松代藩領の番所史料です。現在の上水内郡小川村にありました。 1回ごと読み切りの一紙ものを取り扱います。一文字一文字ゆっくり読んでいきます。	
3回（小野講師）「立屋口留番所史料を読む4」 2回目の史料の復習をしたあと、新規の一紙ものを読みます。グループで短い文章を検討いただいた後、代表の方に読んでいただきます。	
4回（伊藤講師）江戸時代後期の村びとと書肆（しょし）参 寺澤家文書（更級郡）の書物の出入りを示す「世帯道具覚」などをテキストに、村びとの読書に対する意識を探ります。一つ書き文書をひたすら読み進める続々編です。	
5回（伊藤講師）明治改元150年 文書から見る長野県誕生 弐 明治新政府は幕府領の支配所を接收すると共に、これまでの金融業者らには任命通達を出し、支配者の交代を告げている。これらの内、比較的読みやすい文書をテキストに、今とは違う文字の使われ方を辞典で調べ読み解いていきましょう。	

<b>中級</b>	目標「テキストの文字の解読がほぼできる。内容についてある程度自力で把握する」
1回（村石講師） 中級講座へいらっしゃい～土地売買の世界へようこそ～ 土地売買証文と聞くと、「画一的でつまらない」という人も多いのではないのでしょうか。そんなことはありません。なぜ大切な土地を売るのか、もし後日に相論になったらどうするか、など興味深い情報が満載です。中級第1回講座では、文字だけでなく時代・地域・背景などを考えながら、身近な土地証文の世界へご招待します。	
2回（畔上講師） 千曲川通船の文書を読んでみよう① 流通が盛んになってきた江戸時代後期、千曲川を利用し、川船で荷を大量に運ぶ通船に取り組む個人や藩が現れました。千曲川通船はどこからどこまで行われたのか、許可された船数はどれだけか、許可書や計画「目論身」などを読んでみましょう。	
3回（畔上講師） 千曲川通船の文書を読んでみよう② 千曲川通船の第2回です。船で運んだ荷物は何だったのでしょうか。運賃はいくらだったのでしょうか。船乗りは何人で、給料はいくらだったのでしょうか。これらの内容が記された文書を読みながら、当時の様子を思い描いてみましょう。	
4回（村石講師） 大名文書を読んでみよう1 民政文書編 信濃国飯田藩主・松本藩主を歴任した小笠原秀政の生涯をたどる講座です。 1回目は「法度」を用いて領内統治に使用した文書の変遷を読み解きます。	
5回（村石講師） 大名文書を読んでみよう2 有名人編 企画展で展示されている実物史料を間近にして読みごたえのある織田信長や豊臣秀吉の新出文書を読み解きましょう。篠ノ井四宮庄（長野市）の文書も読みましょう。	

※上級講座はひきつづき尾崎先生にお願いします。

目標 「難解な文書を読み解読と解釈ができるようになる」